

川柳 二十七年七月 「何」「怒り」

何気なく 言われた言葉 胸をさす 西沢 秀子

泥棒が とっていくもの 何も無い 西沢 秀子

一人者 怒りの先は テレビのみ 西沢 秀子

若き肌 何かどこかで 胸騒ぎ 伊藤 直人

怒っても 改善されぬ 悪い癖 伊藤 直人

怒るより 褒めて育てる 地域の子 伊藤 直人

何も如も 早く決めたい 安部総理 山本 昭子

何でだろう 言ってた人は どこいった 山本 昭子

テレビ見て 観る物ないと 怒る夫 つま 山本 昭子

残し糞 見上げる愛犬 何思う 藤原 輝治

怒る面 心は涙の 親心 藤原 輝治

政治屋の ふところ増えて 民怒り 藤原 輝治

忙しく 怒る時間も 惜しくなる 堀 輝規

つばめさん 我が家と別れ 何処へ行く 堀 輝期

数学が 苦手な理由 幾何にあり 堀 輝期